

漸増する今後の 岡山県の牛乳生産量

	35年 9月	10月	11月	12月	36年 1月	2月	3月	4月	5月
前年の 牛乳生産量	トン 2,780 石 14,817	トン 2,844 石 15,159	トン 2,705 石 14,418	トン 2,974 石 15,851	トン 3,230 石 17,216	トン 3,184 石 16,971	トン 3,709 石 19,769	トン 3,983 石 21,229	トン 4,119 石 21,954
搾乳頭数 前年比	% 111.5	% 111.4	% 113.4	% 116.6	% 122.5	% 128.5	% 118.2	% 116.6	% 117.1
本年の予想 牛乳生産量	トン 3,100 石 16,500	トン 3,200 石 17,100	トン 3,100 石 16,500	トン 3,500 石 18,700	トン 4,000 石 21,300	トン 4,100 石 21,900	トン 4,400 石 23,500	トン 4,600 石 24,500	トン 4,800 石 25,600

(注) 本年予想牛乳生産量は100位にラウンドしてある。

農林省岡山統計調査事務所で8月1日現在の牛乳生産予想調査の結果が、去る9月13日次のとおり発表されました。

この調査の目的はいうまでもなく牛乳生産量を月別に予想するのですが、現在の段階ではこれを直接予測することは出来ませんので牛乳生産量を構成する要素である「搾乳頭数×1頭当り搾乳量」のうちで先ず搾乳頭数は今後どのぐらい増えるだろうか、或は減るだろうかということ予測し、これを前年同月の搾乳頭数に比べその割合によって牛乳の生産量を予測しようとするものであります。

今後の予想

上表みますと、9月以降の搾乳頭数は前年に比べて11.4%~16.6%増と本年末まではそう急激な変化もありませんが、年を越して来年1月は22.5%2月は28.5%と2~3割近い増加予想を示し、以後3月

~5月は17%前後増という傾向をみせております。

勿論4カ月以上もさきの搾乳頭数を予想するためには、受胎確定率とか減耗率或は流死産等種々の条件を考えなければならず、これにともなう搾乳頭数の変動により生産量の増減も当然考えられますが、9月以降上記のような漸増傾向をもちつづけるものとしますと35年1カ年間の岡山県の牛乳生産量は約41トン余(約22万石)で昨年1カ年間の生産量の約2割増に達するものとみられております。

岡山畜産便り 1960.10